

平成 21 年度
牛乳栄養学術研究会委託研究報告書

Annual Study Reports on Milk Nutrition
Sponsored by Japan Dairy Association 2009

平成 22 年 12 月

牛乳乳製品健康科学委員会

社団法人 日本酪農乳業協会

はじめに

当協会は、昭和61年（1986年）以来、牛乳乳製品の消費拡大に医学、スポーツ医学、栄養学、農学などの専門家から牛乳乳製品と健康との関連について学術的な研究テーマを募集し、調査・研究を委託、実施してきました。

今回は、平成21年度に報告された委託研究の成果（14題）を、牛乳栄養学術研究会委託研究報告書として取りまとめました。

牛乳乳製品の新たな三次機能や疫学的調査研究等のエビデンスが得られました。

この報告書が、関係者のご参考となり、牛乳乳製品の学術的な発展および消費拡大に寄与できれば幸いに存じます。

おわりに当たり、本研究に鋭意取り組まれた諸先生方には、心からの謝意を表します。

牛乳乳製品健康科学員会
社団法人 日本酪農乳業協会

目 次

1. 運動性筋損傷の早期回復に及ぼすミルクタンパク摂取の影響
愛知教育大学教育学部創造科学系
春日規克…………… 1
石道峰典
幸篤武
鈴木英樹
中京女子大学健康科学部
伊藤正江
西沢富江
2. 乳製品摂取は乳歯齲蝕に予防的か —福岡市3歳児健康調査—
福岡大学医学部公衆衛生学
田中景子……………21
三宅吉博
3. 減量中の牛乳乳製品摂取状況が体重および血液性状
(血清脂質プロファイル、体内炎症性反応を含む) に及ぼす影響
筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻 田中喜代次……………30
4. ランダム化比較試験によるカルシウムの骨粗鬆症予防効果の解明
新潟大学大学院医歯学総合研究科地域予防医学講座
社会・環境医学分野
新潟医療福祉大学健康科学部
中村和利……………54
斎藤トシ子
5. 乳糖不耐症の病態発生に関する基礎的研究
静岡県立大学環境科学研究所
桑原厚和……………62
唐木晋一郎
6. 乳発酵食品チーズの機能性 —抗腫瘍活性—
東海大学農学部
井越敬司……………80
7. カゼイン摂取によるラットのアルコール性肝障害抑制作用に関する研究
東北大学大学院農学研究科栄養学分野
共同研究者
駒井三千夫 ……………100
白川仁
Puspo Edi Giriwono
橋本拓也
藤知子

8. 牛乳・乳製品に含まれるラクトフェリンの組織幹細胞への作用と骨質改善に関する研究
松本歯科大学総合歯科医学研究所 小澤英浩 ……118
9. 牛乳タンパク質由来の精神的ストレス緩和ペプチドに関する神経生理学的研究
京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻 大日向耕作 ……135
大学院生 金川典正
鈴木千尋
10. ストレス誘導アレルギー性腸炎モデルにおける発酵乳酸菌の抑制効果
東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻 戸塚護 ……150
11. アジュバント的媒体としての乳機能の探索と開発
京都大学大学院農学研究科 谷史人 ……161
12. プロバイオティック乳酸菌の表層 GAPDH の網羅的発現解析と腸管付着性に関する研究
宮城大学食産業学部 木下英樹 ……183
13. 中学生・高校生の朝食摂取状況と牛乳・鉄栄養状態に関する研究
女子栄養大学給食・栄養管理研究室 石田裕美 ……204
14. 牛乳タンパク質からの AT1 受容体阻害活性を有する新規血圧降下性ペプチド
の単離とその利用
東北大学大学院農学研究科 齋藤忠夫 ……214